

産地パワーアップ事業の取組事例

(北海道)

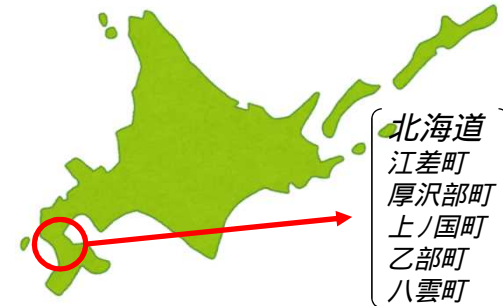
取組の概要

取組の概要 : 調製能力の高度化と生産拡大による産地強化
計画作成主体 : 厚沢部町地域農業再生協議会
対象品目 : 小麦 (産地面積: 651.7ha)
 : 白大豆 (産地面積: 350.0ha)
主な取組主体 : 新函館農業協同組合
成果目標 : 販売額の10%以上の増加
助成金の活用 : 整備事業 (乾燥調製施設の整備)
状況

ポイント

小麦及び白大豆の作付・生産拡大に対応した効率的な調製施設の導入による品質の向上と秋小麦「きたほなみ」について栽培技術マニュアルの普及・実践により単収向上を図り、販売額の24%以上の増加を実現。

地区の概要



産地の現状と目標

現状: H26年度

【秋小麦】
作付面積: 252.7ha (単収: 433.5kg/10a)
販売額: 33,222千円
【春小麦】
作付面積: 265.4ha (単収: 317.0kg/10a)
販売額: 32,712千円
【白大豆】
作付面積: 241.0ha (単収: 238.7kg/10a)
販売額: 112,134千円
【その他(そば、緑肥等)】
作付面積: 242.6ha 販売額: 2,115千円
→10a当たり 17,988円



目標: H30年度

【秋小麦】
作付面積: 330.9ha (単収: 466.4kg/10a)
販売額: 50,252千円
【春小麦】
作付面積: 320.8ha (単収: 317.0kg/10a)
販売額: 57,576千円
【白大豆】
作付面積: 350.0ha (単収: 238.7kg/10a)
販売額: 116,376千円
→10a当たり 22,383円



推進体制

地域の関係者(江差町、厚沢部町、上ノ国町、乙部町、八雲町、JA新函館、農業関係者等)が一体となり、農業試験場、普及センターの支援を得ながら事業を推進。

地域における独自の取組

主な取組

地域プロジェクト課題として春小麦「春よ恋」の低収量原因の究明と改善策を検討。
秋小麦「きたほなみ」の単収増加栽培技術の普及推進(H27マニュアル作成)。栽培技術講習会等の開催。

市町村単独事業

複数の町(江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、八雲町)において、生産性向上に向けた取組を積極的に支援。

事業効果

調製能力の向上による作付面積拡大への対応や作業効率の大幅な改善、品質低下の未然防止。
販売額の増加により、生産者の所得向上につながり、小麦・大豆の産地強化を実現。

~小麦・白大豆の販売額~

